

府立茨木支援学校



テーマ:授業づくりのレシピを公開!

～教科の視点で授業が変わる! 単元設定から評価まで 授業づくりの考え方～

概要

単元(題材)設定から評価まで 授業づくりの方法や工夫についての取組み

自立活動を主体とする教育課程に基づいて学ぶ子どもたちが在籍する中で、各教科等に分かれた指導に焦点を当て、各教科等の単元(題材)設定から評価まで一貫した授業づくりの方法や工夫について研究を行い、授業づくりの在り方についての校内の共通認識を育むための取組みを行いました。具体的には、3つの教科の実践について、授業者及び研究部担当者、教育センター担当者が「チーム」として授業改善に取り組み、得られた成果や課題を校内研修において共有しました。

実施スケジュール

Research

5月下旬

管理職、研究部、担当指導主事で、今後の進め方について打合せ

6月下旬～

授業見学(4回実施)

Vision

7月20日(火)

全体会

テーマ:「パッケージ研修支援の各教科について」

Plan

8月上旬～

学習指導案の作成・検討

Do

9月中旬～12月中旬

事前授業の実施(3回実施)

研究授業及び研究協議の実施(3回実施)

Check & Act

12月22日(水)

校内実践報告会Ⅰ

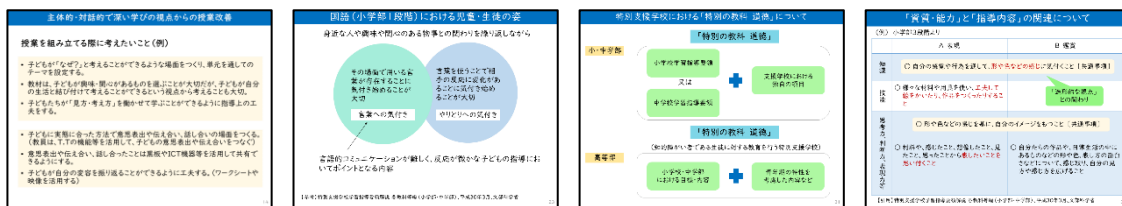
2月9日(水)

校内実践報告会Ⅱ

全体会

7月20日(火)「パッケージ研修支援の各教科について」

支援教育推進室指導主事より



特別支援学校学習指導要領を基にして、子どもたちがこれからの社会を生きていく上で必要となる資質・能力とは何か、また、それらの資質・能力を育むための授業改善のポイントについて講義を行いました。さらに、小学部1段階「国語」「算数」、「道徳」、小学部3段階「美術」の指導内容のポイントを示すとともに、重度重複障がいのある子どもの指導のポイントについても講義を行いました。

研究授業(1)

学年・教科: 小学部2・3年 「国語、算数」(ことばかず)
単元名: 「ぞうくんのさんぽ」



研究協議のポイント
言葉のリズムを体感したり、言葉が表す事物の大きさに気付いたりすることをポイントとして、絵本を題材にして、動物の名前や動きのオノマトペなど、言葉がもつリズムを

体感したり、様々な動物の大きさの違いに気付いたりするための指導方法の工夫について協議を行いました。

研究授業 (2)

学年・教科： 小学部4年 「道徳」(ともだち)
単元名： 「おすわりくまちゃん」



研究協議のポイント
追体験を通して、他者の気持ちに気付くことをポイントとして、子どもが悲しい気持ちやうれしい気持ちを感じたり、他者の気持ちに対してどう振舞えばよいのか考えたりする体験ができるように、どのように絵本の一場面を取り出して体験の場面を設定するのかについて協議を行いました。

研究授業 (3)

学年・教科： 高等部生活課程3年 「美術」
単元名： 「イバラキ・アクアリウム」



研究協議のポイント
色の重なりから生まれる感じや形を組み合わせた感じに気付くことをポイントとして、組み合わせた形や色などからつくりたい海の生き物をイメージするという取組みにおいて、生徒どうして意見を交換したり、自分の学びを振り返ったりするための指導方法の工夫について協議を行いました。

成果

<単元(題材)設定から評価まで 授業づくりの方法や工夫>

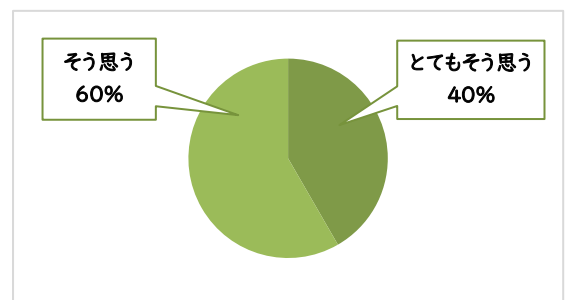
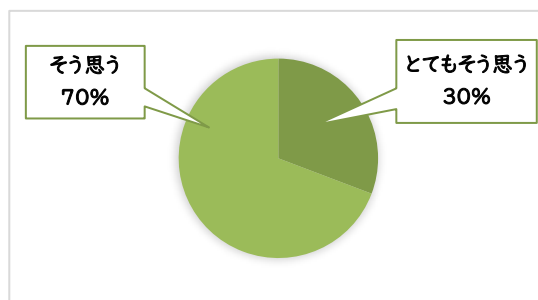
授業者及び各授業を担当する教員でチームとなり、授業改善に取り組みました。研究協議では、学習指導要領に基づいた単元(題材)の目標設定、一人ひとりの障がいの程度や特性、これまでの学習の達成状況を踏まえた一人ひとりの目標設定、指導・支援の方法の工夫、そして、評価の在り方について協議を行いました。いずれの授業においても授業改善が進み、校内全体で共有すべき授業づくりのポイントが明確になりました。

さらに、校内実践報告会では、特別支援学校学習指導要領小学部第1段階の指導内容に基づいて、障がいの程度が重い子どもたちの指導・支援を行う場合のポイントについて教員全体で共有したり、各研究授業の成果を基にして、子ども一人ひとりの実態を踏まえた授業づくりのポイントについて共有したりしました。単元(題材)設定から評価までの一貫した授業づくりの流れについて、学校全体の教員の授業づくりに対する意欲の向上につながりました。

アンケート 結果

① 学校のニーズにできていた

② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- ・ 学習指導要領に基づく授業づくり、指導と評価の一体化などについての意識が高まりました。
- ・ パッケージ研修支援において研究授業をすることで、とても学びが深まったことが実感できました。年間を通した計画、ねらい、児童生徒の実態、単元のねらい等について助言いただいたことでとても勉強になりました。
- ・ 授業に参加している全ての教員が「生徒の意欲をかきたてることのできるような授業内容を展開しよう」という意欲をもつことができるか、そこにはまだまだ課題が残ると感じました。
- ・ 特別の教科 道徳についての授業づくりのポイント(子どもの反応をイメージする、体験的な学習を取り入れるなど)や評価の観点(個人内評価についてなど)について講義いただき、とても勉強になりました。